

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐山高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年10月13日 (木) 13:20 ~ 15:20
- 3 開催場所 岐山高等学校 会議室
- 4 参加者

| | | |
|-------|-------|--------------------|
| 会 長 | 河崎 哲嗣 | 岐阜大学教育学部数学教育講座 准教授 |
| 副会長 | 井關 敦子 | 岐阜大学医学部母性看護学教授 |
| 委 員 | 増田 勝美 | 長良東地区自治会連合会長 |
| | 内田 真樹 | 長良東民生委員・主任児童委員 |
| | 若井 悟 | 岐山高等学校元同窓会長 |
| | 山田 亨治 | 岐山高等学校PTA副会長 |
| 学 校 側 | 石神 政幸 | 校長 |
| | 笠原 常豊 | 教頭 |
| | 木澤 朗 | 教頭 (欠席) |
| | 川口 晋 | 教務主任 |
| | 可知 誠 | 生徒指導主事 (欠席) |
| | 小森 美穂 | 進路指導主事 |
| | 藤井 智大 | 教務部記録係 |

5 会議の概要 (協議事項)

1年進路研究講座の参観観後、学校側から会議資料等を説明し、学校課題「目指すべき学校像」(本校や本校生に期待すること)等について検討した。

(1) 現在行われている私服と制服の選択制について

意見1: 制服は、保護者からすると経済面で、子どもからすると服装に悩まなくて良いメリットがある。学校の伝統もあるので、制服を完全になくさないで、制服を維持しながら私服の選択をしていくなど、よく生徒と教職員が話し合っ
て決めてもらえればよい。

意見2: 女子がスカートかズボンか選べるように、男子も選択肢があれば、という意見を聞くことがある。染髪やパーマも、大人が心配するほどのことにはならないのではないか。

意見3: リボンを変えれば本校の人气が一時的にあがるかもしれないが、学校で取り組んでいることが変わらないとその人气が続かない。また、一生の中で、規律を守るという時期も大事である。

意見4：親に養われているうちは、あまり親の負担を増やすようなことをすべきでない。制服や私服を自由に選択させれば、自分たちで考えて行動できる。また、経済的な問題は、最後は家庭の問題である。

⇒学校は現状維持をしようとする傾向にあるが、20年後、30年後を見通して、生徒によく考えさせる。なんでも手放しに生徒のやりたいようにさせることはないが、よく考えた結果であれば、それに学校側も協力していく。

(2) 授業参観について

意見1：生徒は一生懸命に取り組んでいる様子であった。今回は生徒が一つの講座を選択しているが、講義内容がとてもいいので、次年度から複数の講座を受けられるようにしてほしい。

⇒来年度に向けて、生徒がより良い形で受講できるように検討する。

意見2：理数科の印象が強い高校なので、理系の分野に生徒が多いと想像していたが、予想以上に文系の分野を聴講している生徒も大勢いた。また、私達が廊下を通っても、こちらのことを全く気にせず、講義に集中している様子が見られた。

意見3：講義終了後の質疑応答もかなり充実していた。

(3) 生徒指導について

意見1：10月から自転車のヘルメットが努力義務になったが、岐山高校としてはどのような状況か知りたい。

⇒ヘルメットは努力義務ではあるが、安全確保のために生徒指導部より生徒に向けてヘルメットの着用を呼びかけている。

(4) 広報について

意見1：地元でも、本校の印象が薄いと感ずる場面もある。もっと広報活動に力を入れてほしい。

⇒ホームページやSNSの活用により、今以上に広報活動を充実していく。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会において、本校の学校課題「目指すべき学校像」（本校や本校生に期待すること）等について、全委員から様々な意見を得ることができた。改めて、学校運営協議会委員の方からの本校に対する期待が大きい。

今後は岐山高校の特色ある教育活動や誇れる点を積極的に広報するなど、本校のよさをより多くの方々に知ってもらえるようにも活動していく。